

商品名 セレニカR錠200mg 医薬品基本情報

薬効	1139 その他の抗てんかん剤	一般名	バルプロ酸ナトリウム徐放錠（2）
英名	Selenica-R	剤型	徐放錠
薬価	10.90	規格	200mg 1錠
メーカー	興和	毒劇区分	

セレニカR錠200mgの効能・効果

てんかんの(易怒性、不機嫌、性格行動障害、混合発作、焦点発作、小発作、精神運動発作)の治療、(躁病、躁うつ病の躁状態)の治療、片頭痛発作の発症抑制

セレニカR錠200mgの使用制限等

1. 重篤な肝障害、カルバペネム系抗生物質投与中、尿素サイクル異常症、〈片頭痛発作の発症抑制〉妊婦又は妊娠している可能性	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 妊婦又は妊娠している可能性〈てんかん・躁病および躁うつ病〉	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 薬物過敏症の既往、自殺企図の既往、自殺念慮のある躁病、自殺念慮のある躁うつ病の躁状態、原因不明の乳児死亡の家族歴、尿素サイクル異常症の家族歴、原因不明の昏睡の既往、原因不明の脳症の既往、尿素サイクル異常症又はその恐れ・疑い、重篤な下痢、便秘、腸管狭窄、腎機能障害、血液透析、肝機能障害＜重篤な肝障害を除く＞又はその既往、妊娠中〈てんかん・躁病および躁うつ病〉	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

セレニカR錠200mgの副作用等

1. 劇症肝炎、重篤な肝障害、黄疸、脂肪肝、肝障害、急激な意識障害、高アンモニア血症、意識障害、溶血性貧血、赤芽球癆、汎血球減少、重篤な血小板減少、顆粒球減少、急性膵炎、激しい腹痛、発熱、嘔気、嘔吐、腓醇素値上昇、間質性腎炎、ファンコニー症候群、中毒性表皮壊死融解症、Toxic Epidermal Necrolysis、TEN、過敏症症候群、発疹、リンパ節腫脹、肝機能障害、白血球増加、好酸球増多、異型リンパ球出現、脳萎縮、認知症様症状、健忘、見当識障害、言語障害、寡動、知能低下、感情鈍麻、パーキンソン様症状、静止時振戦、硬直、姿勢異常、歩行異常、横紋筋融解症、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、SIADH、低ナトリウム血症、低浸透圧血症、尿中ナトリウム量増加、高張尿	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. 咳嗽、呼吸困難、発熱、間質性肺炎、好酸球性肺炎	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
3. 皮膚粘膜眼症候群、Stevens－Johnson症候群	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 失調、不穏、視覚異常、感覚変化、抑うつ、便秘、食欲亢進、血小板凝集能低下、血尿、尿失禁、月経異常、月経不順、無月経、多嚢胞性卵巣、精子数減少、精子運動性低下、鼻血、口渇、歯肉肥厚、発熱、カルニチン減少	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. めまい、傾眠、悪心、嘔吐、胃部不快感、AST上昇、ALT上昇、Al－P上昇、貧血、白血球減少、過敏症、発疹、夜尿、頻尿、高アンモニア血症、体重増加	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 脱毛、頭痛、不眠、振戦、口内炎、食欲不振、腹痛、下痢、低フィブリノーゲン血症、好酸球増多、倦怠感、浮腫	記載場所	その他の副作用
	頻度	0.1%未満
7. 重篤な肝障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 高アンモニア血症、意識障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 血中濃度変動	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 重篤な高アンモニア血症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
11. 重篤な高アンモニア血症、腸閉塞、潰瘍、致命的、催奇形性、奇形を有する児、二分脊椎児、心室中隔欠損、心奇形、多指症、口蓋裂、尿道下裂、外表奇形、特有の顔貌を有する児、前頭部突出、両眼離開、鼻根扁平、浅く長い人中溝、薄い口唇、呼吸障害、肝障害、低フィブリノーゲン血症、低血糖、退薬症候、神経過敏、過緊張、痙攣、嘔吐、IQが低い、自閉症、新生仔先天性奇形、意識障害、傾眠、昏睡、呼吸抑制、高アンモニア血症、脳水腫、死亡、神経発達症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
12. 自殺念慮、自殺企図	記載場所	使用上の注意
	頻度	5%未満

セレニカR錠200mgの相互作用

- 薬剤名等：カルバペネム系抗生物質

発現事象	てんかんの発作が再発	投与条件	-
理由・原因	バルプロ酸の血中濃度が低下	指示	禁止

2. 薬剤名等：バルビツール酸剤

発現事象	作用が増強、バルプロ酸の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤の血中濃度を上昇、併用薬剤がバルプロ酸の代謝を誘導し、バルプロ酸の血中濃度が低下	指示	注意

3. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	バルプロ酸の作用が減弱、作用が増強又は減弱	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤の血中濃度を上昇又は低下、併用薬剤がバルプロ酸の代謝を誘導し、バルプロ酸の血中濃度が低下	指示	注意

4. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	バルプロ酸の作用が減弱、作用が増強又は減弱	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤の血中濃度を上昇又は低下、併用薬剤がバルプロ酸の代謝を誘導し、バルプロ酸の血中濃度が低下	指示	注意

5. 薬剤名等：フェニトイン

発現事象	バルプロ酸による高アンモニア血症のリスクが増加	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

6. 薬剤名等：ホスフェニトイン

発現事象	バルプロ酸による高アンモニア血症のリスクが増加	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

7. 薬剤名等：フェノバルビタール

発現事象	バルプロ酸による高アンモニア血症のリスクが増加	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

8. 薬剤名等：エトスクシミド

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

9. 薬剤名等：アミトリプチリン

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

10. 薬剤名等：ノルトリプチリン

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

11. 薬剤名等：クロバザム

発現事象	バルプロ酸の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	バルプロ酸の血中濃度が上昇	指示	注意

12. 薬剤名等：ラモトリギン

発現事象	消失半減期が約2倍延長	投与条件	-
理由・原因	肝におけるグルクロン酸抱合が競合	指示	注意

13. 薬剤名等：ロラゼパム

発現事象	消失半減期が延長	投与条件	-
理由・原因	肝におけるグルクロン酸抱合が競合	指示	注意

14. 薬剤名等：グルクロン酸抱合を誘導する薬剤

発現事象	バルプロ酸の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	肝における本剤のグルクロン酸抱合が促進	指示	注意

15. 薬剤名等：ベンゾジアゼピン系薬剤

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	遊離型の併用薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

16. 薬剤名等：ワルファリン

発現事象	作用が増強	投与条件	-
理由・原因	遊離型の併用薬剤の血中濃度を上昇	指示	注意

17. 薬剤名等：サリチル酸系薬剤

発現事象	バルプロ酸の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	遊離型バルプロ酸濃度が上昇、バルプロ酸の代謝が阻害	指示	注意

18. 薬剤名等：エリスロマイシン

発現事象	バルプロ酸の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤が肝チトクロームP-450による薬物代謝を抑制し、バルプロ酸の血中濃度が上昇	指示	注意

19. 薬剤名等：シメチジン

発現事象	バルプロ酸の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	併用薬剤が肝チトクロームP-450による薬物代謝を抑制し、バルプロ酸の血中濃度が上昇	指示	注意

20. 薬剤名等： クロナゼパム

発現事象	アブサンス重積＜欠伸発作重積＞	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.